

組織の目標設定シート(行政経営Aシート)

組織	企画振興部空港企画課
職	課長
氏名	白井 晴基

組織の使命・役割	何のために我が組織が存在するのか、我が組織が果たすべき使命・役割は何か
(小松空港) 1 アジア近隣諸国、世界各地との旅客・貨物路線網の拡充や施設機能の充実強化を図っていくことで、日本海側における国際・物流拠点空港化を促進する。 2 国内主要都市と結ぶ国内航空路線網の充実・強化を図る。 (能登空港) 1 能登空港と大都市圏とを直結する航空路線の充実を図り、能登地域の交流人口拡大につなげていくことで地域の活性化を促進する。 2 能登地域の持つ多様な観光資源等を活用のうえ、アジア近隣諸国等からの観光客の受入を促進するため、国際チャーター便等の受入を推進する。	



組織の目標	使命・役割を果たす上で、我が組織が目指すゴール(成果)は何か、その目標値はどのような水準か				
(定性的目標)	何をどのような状態にしたいか				
(小松空港) ①小松空港の国際化推進とポテンシャルを活かした物流拠点空港づくり。 (能登空港) ②能登空港の機能拡充と利活用の推進による地域拠点空港づくり。					
(定量的目標)	具体的な指標、目標値を設定する				
目標とする成果指標	現行値	年(度)	目標値	年(度)	目標値の設定根拠(他県との比較など)
①小松空港の利用者(国内線・国際線(チャーター除く))	2,170千人	平成24年度	2,667千人	平成26年度	石川県新長期構想の達成目標(チャーター便は除く)
①小松空港の貨物取扱量(輸入・輸出)	11,584トン	平成24年度	33,000トン	平成26年度	石川県新長期構想の達成目標
②能登空港の利用者(国内線)	151千人	平成24年度	215千人	平成26年度	石川県新長期構想の達成目標



25年度に重点的に取り組むべき課題	左記の具体的な内容を記載する
①、②国内及び国際航空路線の維持・拡充	既存路線の維持・拡充及び新規路線の開設促進
①小松空港国際物流拠点化の推進	フォワーダー(*1)及び新規航空会社等への積極的なエアポートセールスの展開による取扱貨物の利用促進
①、②空港施設の機能向上	空港施設の維持、利用しやすい環境整備の促進

(*1) フォワーダー=[FORWARDER]: 荷主と航空機等実際の運送を行う運送事業者との間に立ち、貨物の運送取扱、利用運送及びこれらに付帯する業務を行う業者をいう。